

AP-2400
#100 Adhesive

(ライボンド AP-2400) 1/5
作成日 2015年11月11日
改訂日 2023年05月01日

#1183002

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ライボンドAP-2400
会社名 : 日栄化工株式会社
住所 : 東大阪市荒本北3丁目3番18号
担当部門 : 技術研究部
電話番号 : 06-6746-1741
FAX番号 : 06-6746-1715

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 健康に対する有害性 急性毒性 (吸入: 蒸気) 区分4
皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2
生殖細胞変異原性 区分2
発がん性 区分1B
特定標的臓器/全身毒性 (単回) 区分3(気道刺激性、
麻酔作用)
特定標的臓器/全身毒性 (反復) 区分2 (呼吸器)

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告
危険有害情報 : 吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
呼吸器への刺激のおそれ
眼気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (呼吸器) の障害のおそれ
水生生物に毒性

注意書き

: <安全対策>
取扱い作業場では火気厳禁で局所排気装置を設けて下さい。
取扱い中は換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにし、必要に応じて有機ガス用マスク又は送気ガス用マスクを着用して下さい。
眼、皮膚に触れないように保護めがね、保護手袋、長袖の作業服を着用して下さい。
取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
<緊急処置>
火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用して下さい。
眼に入った場合は、多量の水で15分以上洗い、速やかに医師の診察を受けて下さい。
蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
皮膚に付着した場合には、石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時には、速やかに医師の診察を受けて下さい。
誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けて下さい。

<保管>

貯蔵は、直射日光の当たらない冷暗所（5℃～30℃）に保管し、子供の手の届かない一定場所に、フタをして保管して下さい。

<漏洩>

容器からこぼれた場合、砂、布等でふきとり、不燃性の容器又は水を張った容器に回収して下さい。

<廃棄>

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物
化学名	: 酢酸ビニル樹脂水性エマルジョン
成分及び含有量 (法規制対象物質)	: 酢酸ビニル樹脂及び水

成分名	CAS No.	含有量	化審法官報公示整理番号
酢酸ビニル	108-05-4	0.30%未満	2-728

4. 応急処置

吸入した場合	: 蒸気、ガスなどを吸入して気分が悪くなった時は、直ちに空気の新鮮な場所に移動し安静にし、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚についた場合	: 付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。 : かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに清浄な水で最低 15 分間洗眼した後、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄し、速やかに医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 吸入 : 嘔頭通 咳 息切れ : 皮膚 : 発赤 皮膚の乾燥 : 眼 : 充血 発赤 痛み

5. 火災時の措置

消化剤	: 水（噴霧）、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤。
特定の消化方法	: このもの自体に可燃性は無いが、水分蒸発後の乾燥物は可燃性である。 : 燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 : 延焼の恐れが無いよう、水スプレーで周辺を冷却する。 : 消化作業は風上から行い、保護衣を着用する他、状況により呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 : 作業の際は長靴、手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 流路を毛布、土壌等を用いてせき止め、河川、水路等への流出を防止する。 : 流出した場合は、必要に応じ警察署、消防署、地方自治体の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡を取る
除去方法	: 多量流出の場合はバキューム等で汲み上げる。 : 少量の場合は、おが屑、土砂、パーライト等を混ぜて凝固回収する。
二次災害の防止策	: 付近の着火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意事項
- : 取扱いは換気の良い場所で行う。
 - : 目、皮膚への接触を防止する為、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用する。
 - : スプレーミストや蒸気の発生する作業の場合は局所排気装置を設置するか、防塵・防毒マスクを着用する。
 - : 容器を転倒、落下、衝撃を加える、及び引きずる等の相爆な扱いをしない。
 - : 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行う。
- 保管上の注意事項
- : 凍結、直射日光をさげ、屋内で保管する。
 - : 保管時の温度は5～30度で保管する。
 - : 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容管理濃度

成分名	日本産業衛生学会 (2007年)	ACGIH (2007年)
酢酸ビニル	10 ppm (25 mg/m ³)	TLV-TWA 10 ppm TLV-STEL 15 ppm

設備対策

- : 取扱い場所に適切な換気設備を設置、近くに手洗い・洗顔のできる設備を設置する。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 状況に応じて防塵マスク、防毒マスク
- 目の保護具 : 普通眼鏡型、ゴーグル型
- 手の保護具 : ビニル製、ゴム製、ポリエチレン製手袋
- 皮膚及び体の保護具 : 長袖作業衣等

9. 物理及び化学的性質

物理的状态

- 外観 : 乳白色エマルジョン
- 臭い : 特異臭
- pH : 3～5
- 沸点 : 約100度
- 融点 : 約0度
- 引火点 : なし
- 発火点 : なし
- 溶解度 : 水で無限大に希釈可能。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の保管、取扱い条件では安定。
- 反応性 : 危険な反応性はない。
- 避けるべき条件 : 特になし。

11. 有害性情報

<製品中に含有する酢酸ビニルについて>

- 急性毒性 : 経口 : LD50 1,600-3,480 mg/kg (ラット)、2,900 mg/kg (マウス)
- 急性毒性 : 吸入 : LC50 3,200-4,490 ppm (ラット 4時間)
1,480-3,010 ppm (マウス 4時間)
- 急性毒性 : 経皮 : LD50 2,335 mg/kg (ウサギ)
- 急性毒性 (吸入 : 蒸気) : GHS 区分4 吸入すると有害
- 皮膚腐食性/刺激性 : GHS 区分2 皮膚刺激
- 呼吸器感作性及び皮膚感作性 : 区分外 分類できない
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : GHS 区分2 強い眼刺激

生殖細胞変異原性	: GHS	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	: GHS	区分1B	ヒトに対しておそらく発がん性がある
〃	: ACGIH	A3	動物に対して発がん性が確認された物質であるが、ヒトへの関連性は不明
〃	: IRAC	2B	ヒトに対して発がん性を示す可能性がある
〃	: EU	2	ヒトに対する発がん性が疑われる物質
特定標的臓器/全身毒性 (単回)	: GHS	区分3	呼吸器への刺激のおそれ (気道刺激性) 眠気又はめまいのおそれ (麻酔作用)
特定標的臓器/全身毒性 (反復)	: GHS	区分2	長期にわたる, 又は反復暴露による臓器 (呼吸器) の障害のおそれ
誤えん有害性	:	区分外	分類できない

12. 環境影響情報

河川等に流出すると、広範囲にわたり白濁させる。

魚毒性

成分名	有害性評価
酢酸ビニル	急性: 96時間 LC50: 2.39 mg/L (メダカ OECDTG203 GLP)

水性環境慢性有害性

: 急速分解性がありかつ生物蓄積性が低いと推定される (酢酸ビニル)

その他

: 河川等に流入した場合、エマルジョン中の樹脂の粘着性の影響で呼吸困難が生じ魚類が死亡する可能性がある。

13. 廃棄上の注意

許可を受けた処理業者に委託するか、都道府県条例に基づき焼却する。

焼却する際は、焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。

これを含む排水は活性汚泥処理することが出来る。

その他、水質汚濁防止法、廃棄物処理及び清掃に関する法律の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国連分類

: 該当しない。

国連番号

: 該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

: 運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

: その他、消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

: 第1種1-134 (酢酸ビニル)

労働安全衛生法

: 名称を通知すべき有害物 法第57条の2、施工令第18条の2別表第9 (酢酸ビニル)

労働安全衛生規則

: 作業記録等を30年間保存の対象となるがん原性物質[令和5年4月1日適用] 第577条の2 (酢酸ビニル)

16. その他の情報

<3.組成・成分情報の算出>

製品製造時の添加量(kg)から含有量を算出した

<引用文献(参考文献)>

・GHS対応化管法・安衛法・毒劇法におけるラベル表示・SDS提供制度 [経済産業省 / 厚生労働省]

職場の安全サイト [<https://anzeninfo.mhlw.go.jp>]

化管法 SDS 標準的な書式(JIS Z7253 対応版)

[経済産業省ホームページ内 https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/msds/msds62.html]

他、各社提供の SDS

<作成年月日、改定情報>

作成日 2015年11月

改定日 2023年5月 (JIS Z7253:2019 へ更新)

<SDS記載内容についての問い合わせ先>

日栄化工株式会社 本社 技術研究部

電話番号 06-6746-1741

FAX番号 06-6746-1715

記載内容の取扱いについて

記載内容は情報の提供であり保証するものではありません。危険、有害性の評価は現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しておりますが、全ての科学物質には未知の有害性が有り得るため取扱いには注意が必要です。注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。

安全データシートは、当該商品を安全にご使用いただく為に必要なデータを提供しているものです。実際の使用状況に相応しているか、環境保護の目的に沿っているか、ご使用者の健康・安全を損なわないか等については、ご使用者各位の責任にてご判断願います。